

# 新年のごあいさつ



社会福祉法人 足羽福祉会

理事長 高村昌裕

新年あけましておめでとうございます。

昨年も皆様には大変お世話になりました。

さて足羽福祉会では、法人内の事業所

間で利用者の方の交流事業を年に7、8

回行っております。春の花見や七夕、芋掘

りといった季節に応じた交流もあれば、

毎年10月に福井市東体育館にて300名

以上が集まり『合同レクリエーション』と

いうイベントも行っています。さらに昨

年は11月に、利用者の方それぞれの出し

物を披露し合い、みんなで楽しもうとい

う趣旨で『交流発表会』を職員研修センター

(足羽利生苑2階)にて行いました。

足羽更生園の皆さんがあわせてくれた習

字やちぎり絵、折り紙の作品に、保育園児

喜ばれる足羽福祉会であるよう頑張りました。

やお年寄りの方々から「へえ～」「すごいなあ」という声が聞かれ、足羽ワークセンターの利用者の方がカラオケを熱唱すれば、保育園児が握手を求め、さながら歌謡ショーのような盛り上がりになりました。

そして鳴子を使つての体操やヨサコイでは、元気に飛び跳ねる園児たちに刺激され、会場が暑くなるくらい皆さんで楽しく踊りました。踊り終わつた後も、お年寄りの方が障がいのある方の繰り返す話をうなずきながら聞いてくださつたり、皆さんでハイタッチをしてお別れしたりと、素晴らしい交流の機会になつたものだと感激しました。

施設という場所はどうしても同じ世代、同じニーズの方々が利用される特徴がありますが、交流事業においてさまざまなお代、さまざまなニーズの方々が共に集い、楽しむことで何か心がホッと温まる気がしました。皆が助け合う、そして支え合う福祉社会を目指して、こうした取り組みを今後とも地域の皆様方と一緒に取り組んでいきたいと強く願っています。

今年も、一人のかかわりを『集団の前進に!』  
多くの子どもがいても、一人ひとりの子とじっくり向き合ふことを大切にしています。その姿を、多くの子ども達が見て、会話を聴いて、さまざまなおことを感じ、みんなの学びとなっています。

足羽東保育園  
園長 矢納ともえ

愛全園  
園長 滝波正興

「前進」から  
読み解くメッセージ



『人』の文字は、天を仰ぎ偉大なる存在に誓い、大地にしっかりと足をふん張り、今から成すべき事を決意する姿とのこと。

利己を超えた夢と現実の調和を図り、道を開く!

足羽ワークセンター  
園長 大館嘉昭

昨年は高村理事長のもと、社会福祉充実のため新たな一步を歩みだした年でした。今年度も歩みを止めることなく、信頼される福祉を目指し精一杯精進を重ねていく所存です。

愛全園

園長 滝波正興

前進とは、事が良い方向に動くよう、気概と希望を持つことが大切です。

日々前進しようといまいながら、行動起こし小さな成功を積み重ね、自分を進化させたいと思います。

「幸せは歩いてこない、だから歩いて行くんだよ」♪

365歩のマーチのように、明るく元気に、利用者の方や職員みんなで前進する年に

施設が一致団結して皆様に必要とされ、したいです。

足羽利生苑

苑長 岩本昌雄